

交流人口増加へ雇用創出策は

町 就業の場の確保につとめる

問 就業の場確保の具体的施策は。

観光商工課長 年間を通して雇用確保の面からも、冬季の誘客が課題と考えている。

インバウンド誘客への助成や、観光協会主催の「冬の那須フェスタ」の開催など閑散期への対策を行っている。

状況は。

このほか、今後は、人材の確保のために那須高校などへ求人情報の提供をしたり、県労働局などが行っている「就業支援合同面接会」や、労働政策課主催の「企業魅力体験ツアー」の情報提供なども町内企業へ行っていく。

問 観光業の推進のための、組織DMO導入の進捗

問 湯本地区「温泉街再生プラン」への取り組みは。

観光商工課長 湯本本町通り内にある遊休地利用を地元住民の意見を尊重し、駐車場設置など具体的に取り組んでいく。

問 創業支援への取り組みは。

観光商工課長 創業に要する改修費や、設備などへの補助が受けられるように、国の産業競争力強化法に基づく創業支援計画を経産省へ申請した。これと共に町独自の制度導入の検討もしていく。

問 定住促進の取り組みは。

町長 戸建定住促進住宅の建設をグリーンハイッ田中

内に行っている。また、住宅を取得する方に向けた補助金交付事業も合わせて行っている。

問 観光事業者向けへの定住PRは。

ふるさと定住課長 戸建住宅、移住者への補助金、空き家バンクの利用の促進などのPRを企業向けに行っている。今後も雇用促進のために、町内への定住が少しでも促進されるよう努力する。

茅野 健



那須湯本地区の再生計画の今後に期待



冬の那須町の魅力が満載！3月まで開催